山根　しずく

七月六日、益田グラントワにて東京バレエ団による『白鳥の湖』の公演が行われた。

今回取材をさせていただいた、オデットとオディールの二役を演じる上野水香さんは、それぞれの演じ方や感情表現を最も重要としている。公演中流れる音楽も全て生演奏で、踊っている方達の感情表現をより一層引き立てている様に感じた。だから、セリフがなくても物語の内容が伝わって来るのだ。

私達小学生は、学校や習い事などでちょっとした舞台に立つ事がある。その時に緊張して上手く行かない時もある。だけど上野さんは違う！『緊張する』を『頑張れる』に変えてしまう。毎日練習を積むことで、本番でもいつも通りに演じることが出来るという訳なのだ。

そして、チームワークの良さもこの公演が『ブラボー！』な理由の一つなのだと思う。

今後の東京バレエ団公演も楽しみだ。

20 × 20